

# 外国人受け入れ政策の大転換と 地域経済・地域社会への影響

政府は2019年4月を目処に、外国人労働力受け入れ政策の大転換を図ろうとしています。具体的には新たな在留資格の導入により、介護、農業、建設、宿泊、造船、製造、水産の分野で数十万人規模の単純労働力受け入れを想定しており、法務省入国管理局を改組・格上げして入国在留管理庁を設置する方針も固めました。新たな在留資格は在留期間の制限があり、家族帯同を認めないため、政府は「移民とは異なる」としていますが、地域経済・地域社会には大きな影響が予測されます。

本セミナーでは、静岡文化芸術大学の副学長で多文化共生に詳しい池上重弘教授を講師にお招きし、グローバルな労働力の動きが活発化する現代において日本の労働市場はアジアの若者たちの目にどのように映るのか、そして彼らを迎え入れた日本の企業や地域社会には何が求められるのかについてご講演いただきます。

【日 時】 平成30年10月22日（月）14：00～16：00（開場13：30）

【会 場】 浜松商工会議所会館 10階 B会議室（浜松市中区東伊場2-7-1）

※駐車場無料サービス券を発行いたします。浜松商工会議所駐車場をご利用ください。

【参加費】 無料

【内 容】 1. 講演：外国人受け入れ政策の大転換と地域経済・地域社会への影響

講師：池上 重弘 氏（静岡文化芸術大学副学長、文化政策学部教授）

北海道札幌市出身。北海道大学大学院文学研究科修了。同大助手、静岡県立大短大部専任講師、静岡文化芸術大学助教授を経て、2008年より教授。2017年より副学長。専門は文化人類学、多文化共生論。

文部科学省、内閣官房、総務省、外務省の有識者会議等の委員や外国人集住都市会議アドバイザー、愛知県、静岡県、浜松市、磐田市等の多文化共生に関わる委員を歴任。日本社会の多文化・多民族化に伴う地域の課題を実証的に研究。主著に『ブラジル人と国際化する地域社会－居住・教育・医療－』（編著、明石書店）、『移民政策のフロンティア』（共編著、明石書店）。



2. 質疑応答

【定 員】 50名（定員を超えてお申込みがあった場合、SIBAより連絡いたします）

【申込方法】 本用紙をFAX、またはSIBAホームページ（<http://www.siba.or.jp/>）から申込み

【締 切】 平成30年10月19日（金）

【主 催】 公益社団法人静岡県国際経済振興会（SIBA）

【共 催】 ジェトロ浜松（予定）

【後 援】 浜松市、浜松商工会議所、(公財)浜松地域イノベーション推進機構（予定を含む）

【お問合せ】 担当：上原 TEL：054-254-5161 MAIL：[uehara@siba.or.jp](mailto:uehara@siba.or.jp)

\*\*\* 「外国人受け入れ政策の大転換と地域経済・地域社会への影響」参加申込書 \*\*\*

（送付先：SIBA FAX：054-251-1918）

貴社名	ご所属・お役職等	お名前

ご住所：〒

TEL： \_\_\_\_\_ FAX： \_\_\_\_\_

MAIL： \_\_\_\_\_ @ \_\_\_\_\_

※ご記入いただいた内容は、当セミナー開催関係機関・企業と共有し、参加者把握のため利用するほか事務連絡や関連事業に利用することがあります。当セミナーへの反社会的勢力の入場はお断りします。